

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/卒論演習1 (Seminar on Thesis Writing 1)
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	企業経営の理論と実態に関する総合的多面的理解
担当者 (Instructor)	秋野 晶二(AKINO SHOJI)
学期/単位 (Semester / Credit)	春学期/2単位 (Spring Semester / 2 Credits)
備考 (Notes)	コンセントレーション: マネジメント領域, アカウンティング&ファイナンス領域

授業の目標 (Course Objectives)

問題発見, 資料収集・分析, 論理構成, 文書作成といった能力を多面的な観点から総合して論文を作成し, 自分のオリジナルな考え方を創り出す能力を身につける。

授業の内容 (Course Contents)

本ゼミナールでは, 経営学部での4年間の集大成として論文を作成する。
 そのために, まずこれまで学んできた理論や事実に関連する文献を多数収集したうえで, これらを検査し直すことから始め, その上で, 自らの観点から新しいテーマを見つけ出す。テーマは経営学および周辺の関連する学問分野のものであれば自由に設定することができる。まずは関心のある対象に関連する文献・資料を収集・読解することでテーマを明確にし, 仮説を設定する。そのうえで, 論文の構成を作成し, 各構成に応じて必要となる文献・資料をさらに収集・読解し, 必要に応じて自ら新しく資料を作成するなどして, これに分析・検討を加えながら論文を作成していく。
 この論文作成を通して, 自らの考えを創出し, それを論理的に証明し, 説得的な文章を構成・作成できる能力を培うことが目的である。

このような論文作成の過程を経験することで, 様々な文献, 多面的な考え方を学ぶことができるので, 様々な観点から一つの事実をとらえ, それぞれの考え方や立場を理解することができるようになる。また, そのような考え方がどのように創り出されてくるのかも理解できるようになる。そのことによって自らの立場を明らかにし, 何が本当に重要で新しい考え方なのかを見分ける能力や, いかなる課題に対しても適切に分析する能力も養うことができる。本講義を受講するに当たっては, 経営学に関連する理論文献, 学術文献などの諸文献を収集し, 読解する能力, 基本的な財務諸表等の数値データを読解し, 分析する能力が必要である。

本ゼミナールは, 各週の報告担当者を決めたうえで, 4年生全員参加のもと, 報告と質疑応答によって進める。報告者以外も他の卒論の報告者の報告を聞き, 議論を行う。このことを通じて他のテーマに関する知識を得るとともに, 思考形成のプロセスを学ぶ。春学期には参加者各自は3~4度の論文の中間報告を行いながら, そこで受けた指摘に基づいて論文を作成していく。春学期の論文報告の成果をまとめて夏合宿にて報告する。

なお詳細なシラバスについては, <http://www.rikkyo.ne.jp/web/z5000006/akinoHP~2015/rishu.html>を必ず参照すること。

授業計画 (Course Schedule)

1. 卒論中間報告 (1巡目)
2. 卒論中間報告 (1巡目)
3. 卒論中間報告 (1巡目)
4. 卒論中間報告 (1巡目)
5. 卒論中間報告 (2巡目)
6. 卒論中間報告 (2巡目)
7. 卒論中間報告 (2巡目)
8. 卒論中間報告 (2巡目)
9. 卒論中間報告 (3巡目)
10. 卒論中間報告 (3巡目)
11. 卒論中間報告 (3巡目)
12. 卒論中間報告 (3巡目)
13. 第一回卒論中間報告再報告
14. 第二回卒論中間報告再報告

授業時間外 (予習・復習等) の学習 (Study Required Outside of Class)

各自の卒論にテーマに合わせて, 論文の報告・作成の準備を行う。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

毎回の参加度・論文の内容・報告(95%)/出席(5%)

テキスト (Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

各自の卒論のテーマに合わせて多数の文献を読解する。

その他 (HP等) (Others (e. g. HP))

<http://www.rikkyo.ne.jp/web/z5000006/akinoHP~2015/rishu.html>